



荒川知子とファミリーアンサンブル

千葉市出身の荒川知子さんは、ダウン症の障害をもって生まれました。千葉市内の特別支援学級「たんぼぼ学級」で学び、中学校から仙台へ転居。いづみ養護学校の高等部専攻科を卒業。現在仙台市内の「すていじ仙台」でクッキーを作って働きながら、「荒川知子とファミリーアンサンブル」として全国各地で演奏活動を続けています。父はフルート、母はピアノ、兄は新日本フィルハーモニー交響楽団の首席フルート奏者の音楽一家で幼い頃から音楽に親しみ、特にリコーダーでその才能を発揮し、コンサートでは笑顔とともに美しい響きを奏でます。2008年にオリジナルCD「みんなしあわせ」、2010年セカンドアルバム「しあわせのたね」を発売し、好評を博しています。

タンバリンの「タ」

東京都国立市在住。第3回全国ファミリー音楽コンクール in よっかいちで第2位を獲得した、父娘の凸凹コンビです。コンクールのために結成したコンビは、世界各地の民族楽器を使った親子ならではの息の合った演奏で、本選会場を沸かせました。

今回のコンサートでは、本選で演奏された曲を披露します。

